

# 令和元年度取組状況

ものづくり工学科

工学コース

准教授

広瀬 義朗

取組状況	
教育	<p>1. 3年生の公民Ⅱの授業において、6月には日本政策金融公庫の職員の方にお越し頂き、高校生ビジネスプランに応募すべくビジネスを立ち上げる練習を行った。11月には日本年金機構品川事務所の方をお招きし、日本の年金制度について講演を依頼し、学生の意識が高まった。2. 4年生選択科目・歴史学Ⅱの授業では、1月に財務省関東財務局東京事務所からの紹介で中小企業家を招待し、外部講師として講演を依頼した。詳しくは、財務省のホームページに掲載されている。3. 夏期集中講義・4.5年生対象、選択科目の企業経営では、校内のビジネスコンテストを行い、日本政策金融公庫の職員の方から起業に関する知識や東京中小企業家同友会大田支部の方々に協力を依頼し、審査をお願いした。審査の結果最優秀賞1チーム、優秀賞1チーム、特別賞1チームに賞状と副賞を与えることができた。4. 公民Ⅱの授業では、3回の授業を使ってグループワークを行った。アイデアを競った上で品川ビジネスコンテストに応募し、2年連続電気電子工学コースの学生が奨励賞を受賞した。</p>
研究	<p>1. 研究報告書を執筆。「我が国財政の持続可能性－カナダの財政再建を事例として－」旭硝子財団人文－研究奨励報告書(同財団ホームページに掲載)。2. 論文を執筆。「カナダの2015年下院総選挙と財政」『龍山会研究会50周年記念論文集』、勁草書房。刊行予定(査読有り)。</p>
社会貢献	<p>1. 公民Ⅱや専攻科目目の地域経済論において、1月に財務省関東財務局東京事務所の方にお越し頂き、日本の財政について計7回講演をして頂いた。回数が多く、大変恐縮であるが、東京財務事務所の方々からは若手育成のためには、貴重な機会であるとの言葉を頂いている。2. 経営学Ⅰでは、同じく東京財務事務所の方をお招きし、金融の新たな世界 Fintechについて講演を依頼した。職員の方は、Fintechの講演の機会が新しい金融等の知識を確認すべく貴重な場の提供であるとおっしゃっており、本校の学生のみならず東京財務事務所の方々の知識の整理にも繋がっている。3. 国際経済学では、品川税務署の方をお招きし、税務署の仕事や査察等の興味深い講演をして下さった。租税を理解してもらうには、租税教室等を開催したいとの要望を受け、講演という形で依頼した。</p>